

## 研究成果の刊行に関する一覧表

### パンフレット

著者氏名	タイトル名	編集者名	掲載場所	ページ	出版年
赤城智美、武石仁身、武内澄子、武川篤行、矢内純子、秋山一男、岡田賢司、豊川貴生	新型インフルエンザ対策(A/H1N1) 感染しない、感染してもひどくならないために ぜんそくなどの呼吸器疾患のある人へ	安井良則、中山健夫、日本患者会情報センター	厚生労働省ホームページ ( <a href="http://www.mhlwgo.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou04/infuIninpu.html">http://www.mhlwgo.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou04/infuIninpu.html</a> )	1-8	2009
山田幸子、山本康史、弘世貴久、堀賢	新型インフルエンザ対策(A/H1N1) 感染しない、感染してもひどくならないために 糖尿病または血糖値が高い人へ	安井良則、中山健夫、日本患者会情報センター	厚生労働省ホームページ ( <a href="http://www.mhlwgo.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou04/infuIninpu.html">http://www.mhlwgo.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou04/infuIninpu.html</a> )	1-8	2009
青山泰三、志村大輔、中澤幾子、東厚子、柳澤昭浩、森慎一郎	新型インフルエンザ対策(A/H1N1) がんで治療中の人へ 感染しない、感染してもひどくならないために	安井良則、中山健夫、日本患者会情報センター	厚生労働省ホームページ ( <a href="http://www.mhlwgo.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou04/infuIninpu.html">http://www.mhlwgo.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou04/infuIninpu.html</a> )	1-8	2009
太田寛、豊川貴生	新型インフルエンザ対策(A/H1N1) 妊娠中や授乳中の人へ 感染しない、感染してもひどくならないために	安井良則、中山健夫、日本患者会情報センター	厚生労働省ホームページ ( <a href="http://www.mhlwgo.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou04/infuIninpu.html">http://www.mhlwgo.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou04/infuIninpu.html</a> )	1-8	2009

## 新型インフルエンザ対策 (A/H1N1)

感染しない 感染してもひどくならないために

# ぜんそく

などの呼吸器疾患のある人へ

このパンフレットは、ぜんそくなどの呼吸器疾患のある人や周囲の人が、新型インフルエンザ(A/H1N1)の予防や受診に必要な情報を共有するために作成しました。

### 感染力が強く、世界中で流行

新型インフルエンザ(A/H1N1)は、2009年春に最初の感染が確認され、現在、日本国内で本格的な流行を迎えています。このインフルエンザは動物由来のウイルスが変異し、ヒトからヒトへと容易に感染するようになったものです。毎年流行する季節性インフルエンザとの違いは、新型のウイルスで私たちが体内に免疫を持っていないため、感染しやすいことです。

この新型インフルエンザには、鳥インフルエンザ(H5N1)で予測されたような高い病原性はいまのところみられません。しかし、短期間のうちに世界的流行

となったことからわかるように、強い感染力があると考えられています。

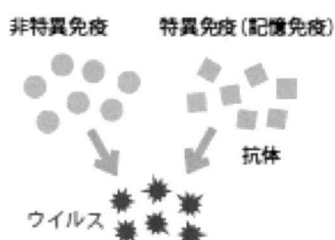
感染者が増えれば、それにとまって重症患者の増加が心配されます。特に、ぜんそくなどの呼吸器疾患のある人は重症になりやすいといわれています。そのため十分な予防と観察が必要です。

かかり始めの症状は、発熱や体のだるさ、鼻汁、せき、のどの痛みなど、季節性インフルエンザと見分けが付きません。これらの症状がみられたら、すぐにかかりつけの医師に相談するなど早めに対処をしましょう。

＜インフルエンザと闘う体内の免疫機構のしくみ＞ (イメージ図)

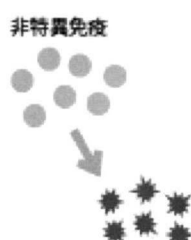
非特異免疫………生物が異物を排除するためにもともと持っている免疫機構  
特異免疫(記憶免疫)……過去の感染やワクチンから後天的にできる免疫機構(抗体)

#### 季節性インフルエンザ



従来の季節性インフルエンザに対しては体内の免疫で闘うことができる。抗体があるため、かかっても軽くすむことが多い。

#### 新型インフルエンザ



新型インフルエンザは特異免疫が働かず、非特異免疫だけで対応する。抗体がないため、非常に感染しやすい。

この内容は2009年9月17日現在の情報に基づいています。

1

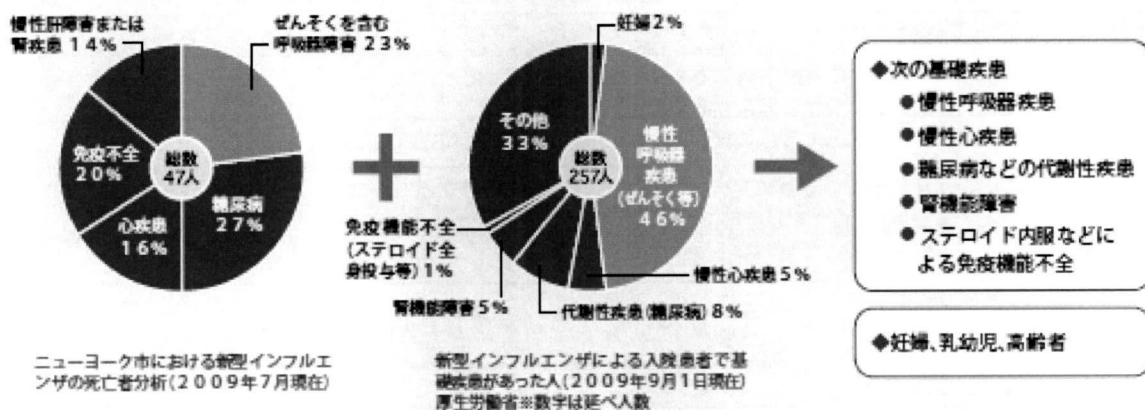
## ぜんそくを含む呼吸器疾患はインフルエンザが重症になりやすい

下の図に示すように、厚生労働省から発表された9月1日(2009年)現在のデータでは、新型インフルエンザによる入院患者で、基礎疾患があった人の半数近くが、ぜんそくを含む慢性呼吸器疾患のある人でした。また、ニューヨーク市における事例では、インフルエンザによる死者数の約1/4が、ぜんそくを含む呼

吸器疾患のある人です。

その理由はまだはっきりとわかっていません。しかし、こうしたデータにより、国内でも、ぜんそくなどの呼吸器疾患は、インフルエンザ重症化のリスクが高い基礎疾患の一つと考えられています。

ニューヨーク市における死亡者分析と、国内でのこれまでの事例から、インフルエンザが重症化しやすい人たちがわかってきています。



## 日頃のぜんそくのコントロールが大切です

ぜんそくなどの呼吸器疾患のある人は、空気の通り道である気道と肺に慢性的な炎症があります。新型インフルエンザに感染すると、インフルエンザの症状が進むとともに、ぜんそくの発作や呼吸困難も起こりやすくなり、それによって気道や肺の状態がさらに悪くなって、症状が重くなりやすいのです。

うがいや手洗いなど基本的なインフルエンザ予防

と同時に、重症化を防ぐためには、慢性的な炎症を放置せず、ぜんそくのコントロールをしっかり行い、発作を起こさない状態を保つことがとても大切です。

かかりつけ医を定期的に受診しながら吸入ステロイド薬などによる治療を行い、十分な睡眠、疲れすぎないことなど、基礎的な体調管理を心がけましょう。

## まず、かかりつけ医に受診の相談。かかりつけ医がいない人は？

インフルエンザなどの感染症に備えるためにも、ぜんそくの症状があったらかかりつけ医をもつことはとても大切です。

かかりつけ医がいない場合はまず、呼吸器科などぜんそくをみってくれる医療機関を見つけておきましょう。同時に、受診先を都道府県の新型インフルエンザ相談窓口や保健所に設置されている発熱相談センターな

どに確認し電話番号を控えておきます。インフルエンザの症状を感じて受診をする時には事前に電話をし、必ず「ぜんそく患者であること」を伝えます。

もちろん、じっとしていても息苦しいとか、喘鳴(ヒューヒュー、ゼーゼー)がひどいなどの状態がある時はがまんせず、救急車で受診してください。

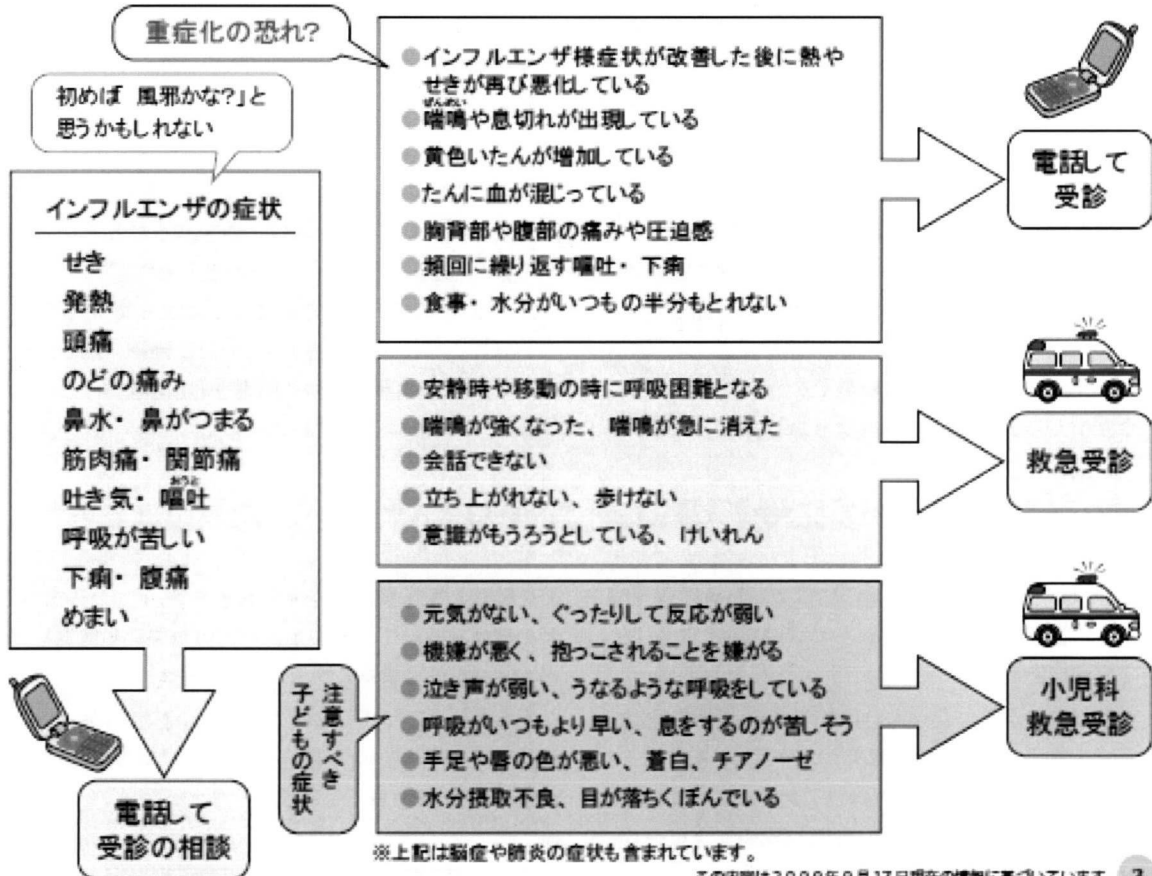
## インフルエンザの症状を感じたら、すぐに受診の相談を

症状は急変するかもしれません。高齢者、一人暮らしの人、病院が遠い人は早めに対処しましょう。

調べて書き込んでおく	かかりつけ医 ぜんそくをみしてくれる病院	TEL	FAX
	地域の救急指定病院 夜間・休日診療施設など	TEL	FAX
	新型インフルエンザ相談窓口	TEL	FAX
あなたや家族が医療機関に必ず伝えるべきこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>インフルエンザの症状のある「ぜんそく患者」だということを伝える</li> <li>「今の状態や苦しさ」</li> <li>「いつから具合が悪くなったのか」</li> <li>「どのような症状が、どのように変化しているか」具体的に</li> </ul>		
用意しておくもの 持って行くもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>ぜんそくの症状の変化と使った薬の名前を記録する</li> <li>保険証、おくすり手帳、ぜんそく日記・ぜんそくカードやインフルエンザ必携カード(P5)</li> <li>受診の時はマスクをしましょう</li> </ul>		

### 受診のタイミング～こんな症状を感じたら受診を～

※息苦しさなどぜんそくの症状はがまんせず、処方されている治療薬を早めに使いましょう



## 新型インフルエンザのワクチン(予防接種)について

体の持つ免疫のメカニズムの中で、ウイルスをたたくのは「抗体」の働きです。この抗体をあらかじめつけておこうというのがワクチン(予防接種)です。ワクチンを接種しておくことで、感染しても抗体の働きで症状が重くなるのを防ぐことに貢献できます。ただ、ワクチンですべての人に効果が期待できるわけではありません。手洗いやうがいをごまめにするなど、基本的な予防は忘れないようにしましょう。

現在、開発中の新型インフルエンザ(A/H1N1)ワクチンの効果は、まだ十分にはわかっていません。

ワクチンの接種にあたっては、その期待される効果やリスクについて医師とよく相談し、接種するかしないかを判断しましょう。また、ワクチンを接種する時は、接種後30分程度は医療機関内にとどまり、経過をみることをおすすめします。

## 卵を含む加工品を食べられる人はワクチン接種も可能

国内産のインフルエンザワクチンは製造過程でニワトリの卵を使います。ワクチンに残存する卵白アルブミンは数ナノグラム(1ナノグラム=10億分の1グラム)ときわめて微量ですが、卵アレルギーのある人は、ワクチンの接種には注意が必要とされています。

ただし、卵アレルギーのある乳幼児(卵白RAST3以上)であっても、卵を含む加工品を食べられるならば、重い副作用を引き起こす危険性はほとんどなく、安全に接種できるとも報告されています。

「アレルギーがあるからワクチンは使えない」ということではありません。以前に卵でアレルギー症状を経験したことのある人は、まず医師に相談してください。アレルギー反応をみる皮内テストや、分割接種などを行う方法もあります。

また、ワクチンを接種していなくても、感染した場合はタミフルやリレンザなどの治療薬で、症状を抑えることができます。

## ぜんそくの人と抗ウイルス薬

インフルエンザの治療には、体内でのウイルスの増殖を阻止する抗ウイルス薬であるタミフル(飲み薬)とリレンザ(吸入薬)が使われています。

新型インフルエンザ(A/H1N1)では、現時点では、世界の感染者のほとんどは軽症であり、その多くは抗ウイルス薬の投与がなくても1週間以内に回復しています。しかし、重症化のリスクの高い人には、原則的に抗ウイルス薬が処方されます。抗ウイルス薬は症状が出始めて48時間以内に投与することで最も有効に働きます。しかし、48時間を過ぎたら効かないわけではありません。

ただ、ぜんそくのある人では、リレンザの吸入によりぜんそく発作が誘発されることがあるため、吸入前に気管支拡張薬を使うよう指導されることがあります。リレンザが処方された時は、持病にぜんそくがあることを改めて医師に伝えて確認しましょう。

なお、タミフルを服用した子どもにも異常行動を示すケースが報告されましたが、タミフルと異常行動の因果関係ははっきりわかっていません。現時点では、必要があると判断されれば、1歳未満や、10歳以上の子どもにも十分な配慮の上で投与されています。

### リレンザを処方されたら

リレンザの吸入によりぜんそく発作が誘発されることがあり、ぜんそくの人では吸入前に発作用の気管支拡張薬を使うよう指導されることがあります。また、添加物として乳糖が非常にわずかに含まれており、特に重症の乳アレルギーのある人では注意が必要です。なお、タミフルには乳糖、乳蛋白成分は含まれていません。

この内容は2009年9月17日現在の情報に基づいています。 4

## 保育園・幼稚園・学校・職場でのインフルエンザ対策のために

日頃からぜんそく症状について学校や職場に伝えてある人も、「インフルエンザにかかったら、ぜんそくとインフルエンザの両方の症状が悪化しやすい」ことを周囲に理解してもらう必要があります。

特にぜんそくの症状は急速に悪化すると、呼吸困難や酸素不足で自分の状態をうまく訴えられなくなることもあります。

あらかじめ保護者は担任や養護の先生と「具合が悪そうだからと下校や帰宅を促すのではなく、様子を見て、

必要であればかかりつけ医に受診の相談をしてほしい」などと、緊急時の対策について話し合っておきましょう。

下記の書き込み式カードなどを使い、インフルエンザ感染による受診に備え、ぜんそく症状や治療の内容についてまとめておきましょう。自分で持っているほか、自宅や学校、職場では本人以外の方がわかる場所にも置いておくこと、担任や養護教諭、職場での管理責任者に預けておくことをおすすめします。

### <ぜんそく患者(児)用インフルエンザ必携カード>

必要事項を記入して、周囲の人にも渡しておきましょう

ふりがな	診断名／治療の状態(既往症・合併症)
名前	
生年月日 明治・大正・昭和・平成 年 月 日 ( 歳)	
住所  TEL	処方されている薬／病院で発作時に使う薬
緊急連絡先(必ずつながる電話番号を) 名前 (続柄) TEL 携帯	医薬品に対するアレルギー／禁忌薬品
かかりつけ医 病院名  担当医  TEL	アナフィラキシーの既往歴(何歳の時、原因物質)  環境アレルゲン
特記事項	食物アレルゲン
	除去食(除去の程度)

この内容は2009年9月17日現在の情報に基づいています。 5

## ぜんそく患者と新型インフルエンザの自宅療養

ぜんそくなどで新型インフルエンザの症状が重くなりやすい人は、感染した家族の看護をしないことが基本です。しかし、それが避けられない場合は十分に注意しましょう。

ぜんそく患者(児)の家族(育児や介護をする人)が

インフルエンザに感染した場合も、発症から1週間程度はできるだけぜんそく患者(児)から離れるようにします。家庭内の感染で重症者を出さないよう、職場の理解を得ながら家庭内のサポート体制を作っておきましょう。

感染を防ぐポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 感染者は部屋を分け、睡眠だけでなく食事も別にする</li> <li>● 部屋を分けられない時は、カーテンやついたてを利用して居場所を分ける</li> <li>● 同じタオルを使わない。使い捨てのペーパータオルを利用する</li> <li>● 部屋の湿度を50%程度に保ちつつ、十分換気をする</li> <li>● 感染者の部屋の入り口にアルコール手指消毒剤をおいてこまめに使う</li> </ul>
インフルエンザ感染者の行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>● トイレや洗面所、他の家族がいるところでは感染者がマスクをする</li> <li>● 風呂や洗面は、一番最後にする</li> <li>● 解熱してから少なくとも2日間は外出を控える</li> </ul>
家族の行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 感染した子どもからは目を離さない(熱が一時的に下がった時が要注意)</li> <li>● 看護中はマスクをして、手洗い、うがいをこまめにする</li> <li>● 洗っていない手で顔や目、鼻、口を触らない</li> </ul>

## 感染予防のために、自分でできること

**せきエチケット** ウイルスが含まれる唾液や鼻水などの飛沫は、2メートルくらい飛ぶことがあります。せきやくしゃみのある人にはマスクをつけてもらい、できるだけ近寄らないようにしましょう。マスクのない時には口と鼻をハンカチやティッシュ、衣類の袖で押さえ、顔を背けてせきやくしゃみをする習慣を、周囲にも広めていきましょう。

**手洗い** 手は知らないうちにウイルスを運んでいます。手洗いはこまめに、石けんと15秒以上の流水で指の間や爪の間もていねいに洗います。病院など公共施設のトイレを使った時は、アルコール手指消毒液も使しましょう。

**うがい** 水うがいをすることで風邪の発症率が40%下がるという調査があります。また、呼吸器の弱い人は、のどをしめらすことでせきが出にくくなるという効果もあります。ヨード液などのうがい薬を使う必要はありません。

**掃除や洗濯** ドアノブ、イスの背もたれ、テーブル、階段の手すり、みんなが使うパソコンのキーボードや

テレビのリモコンなどもウイルスがついていると考えて、拭き掃除やアルコール消毒をこまめにします。

特に小さな子どもがいる時は、感染者が鼻や口を拭いたティッシュや使用したマスクはそのままゴミ箱に捨てず、ビニール袋などに入れて捨てるようにします。掃除や片づけの後はこまめに手を洗いましょう。

インフルエンザウイルスは洗剤や石けん、アルコール消毒液で感染力を失います。感染者の洗濯物を別に洗ったり、熱湯消毒などをする必要はありません。

### 正しいマスク着用

マスクの中の針金を鼻の形に折り曲げる  
鼻の両脇にすきまが空かないように

マスクはむやみに触らない、はずしたらずく捨てる

マスクを広げて  
あごまで包む

おすすめは  
不織布製マスク

ゴムが  
長過ぎる時は  
途中でしぼる

顔にぴったり  
フィットさせる  
のがポイント

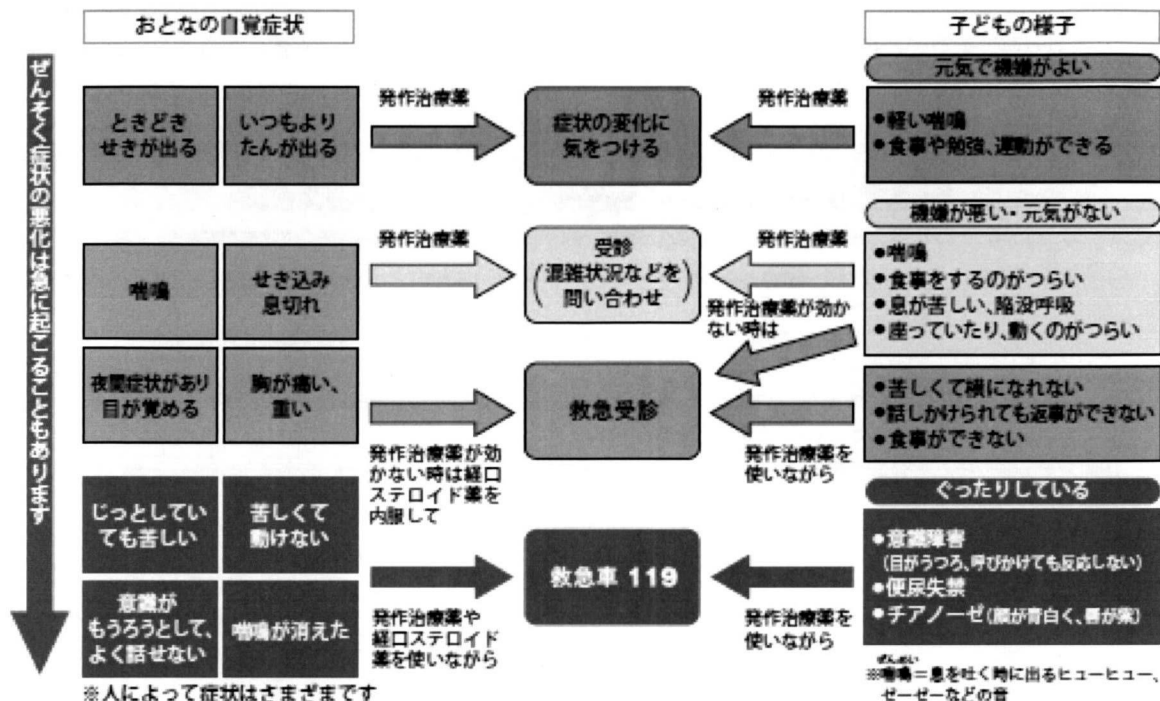


この内容は2009年9月17日現在の情報に基づいています。 6

## ぜんそくの症状の変化に早めに対処しましょう

特に小さい子どもや高齢者の受診の遅れは、重症化やぜんそく死につながります。

参考文献：「喘息予防・管理ガイドライン2006」「アレルギー疾患 診断・治療ガイドライン2007」「家庭と専門医が一緒に作った小児ぜんそくハンドブック2008」  
「HOW TO STUDY ぜんそく（2008年版）」など



## Q&A～もっと知りたいこと～

**Q** ぜんそくをコントロールしていれば、インフルエンザにかかっても重症化する心配はないのですか？

**A** 日頃、ぜんそくがきちんとコントロールできていても、インフルエンザ感染によってぜんそくの症状が悪化し、インフルエンザそのものも重症化する場合があります。「しばらく発作が出ていない」という人も、手洗いやうがいほこまめにし、感染が拡大している時期はあまり人混みに出ないなどの予防はきちんと行ないましょう。

**Q** ステロイド剤を使用していると免疫が抑制されて新型インフルエンザが重くなりやすいといわれました。現在使っているステロイド薬の吸入をやめたほうがいいのか？

**A** 新型インフルエンザが重くなりやすいといわれているのは、ステロイドの飲み薬（内服薬）や点滴治療を続けていて、免疫が抑制されている場合です。ぜんそく治療で使う吸入ステロイド薬は、のどや気管支を中心に作用し、体内にはほとんど吸収されないため、全身の免疫を抑制する危険性はほとんどないと考えられています。ぜんそくをコントロールし発作を予防するためにも、吸入ステロイド薬の使用を自己判断で中止するのはやめましょう。

**Q** インフルエンザにかかった時、気管支拡張薬を使えばよくなりますか？

**A** 気管支拡張薬は気道や気管支を広げる薬であり、タミフル、リレンザなどの抗ウイルス薬ではありません。ぜんそくの発作は治まっても、新型インフルエンザの治療にはなりません。インフルエンザの症状を感じたら、かかりつけ医に受診の相談をしましょう。

この内容は2009年9月17日現在の情報に基づいています。 7



**Q** インフルエンザにかかった時、その治療薬といつも使っているぜんそくの薬は、いっしょに使うことができますか？

**A** インフルエンザにかかった時、処方されるタミフルやリレンザなどの抗ウイルス薬は、ぜんそく治療薬といっしょに使うことができます。インフルエンザにかかった時もぜんそくの治療は継続しましょう。ただし、これまで薬を使って異常の起きたことがある人、アレルギーのある方はかかりつけ医とよく相談をしてください。

**Q** インフルエンザで発熱してつらい時は、ひとまず市販の解熱剤を使っても大丈夫ですか？

**A** インフルエンザでアセチルサリチル酸（商品名：アスピリン、アスピリン含有薬剤）やジクロフェナクナトリウム製剤（商品名：ボルタレンなど）、メフェナム酸（商品名：ボンタールなど）などの解熱鎮痛剤を使うと、子どもでは脳症などが起こる危険性があります。また、解熱鎮痛剤はぜんそく発作やむくみなどの強い症状を引き起こす場合もあります。

ぜんそくのある人は、薬の色素などの添加物に反応して症状が出ることもあります。市販薬や手持ちの薬などを使わず、かかりつけ医に相談をしましょう。

**Q** 定期受診時に病院でのウイルス感染が心配です。感染が拡大している間はファクスなどで薬の処方を受けられますか？

**A** 感染が拡大している地域では、かかりつけ医が了承した場合にかぎり、ぜんそく患者など定期受診する慢性疾患の患者に対し、電話での診療後、ファクスなどで処方することができます（2009年5月厚生労働省事務連絡）。詳しくはかかりつけ医とよくご相談ください。

**Q** 感染が拡大している間は、ぜんそくの薬は多めに処方してもらえますでしょうか？

**A** 新型インフルエンザの感染が拡大している時期には、不要な外出を避けるためにも、少し薬を多めにもらっておいてもよいでしょう。厚生労働省では、発売したばかりの新薬や特定の薬をのぞいて、90日以上長期処方を受けています。ただし、ぜんそくのコントロール状態などをみながら、かかりつけ医とよくご相談ください。

## 情報ネット

新型インフルエンザ情報、およびぜんそくに関する情報は下記のホームページでみることができます。ご利用ください。

新型インフルエンザ対策の基本方針、都道府県の新型インフルエンザ相談窓口など

- ◆厚生労働省 新型インフルエンザ対策関連情報 <http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou04/index.html>
- ◆新型インフルエンザ相談窓口 <http://www.mhlw.go.jp/kinkyu/kenkou/Influenza/090430-02.html>

「一般の皆様へ」のページからアレルギー専門医を検索

- ◆社団法人日本アレルギー学会 <http://www.jsaweb.jp/general/list.html>

新型インフルエンザはじめ、感染症に関する総合的な情報サイト

- ◆国立感染症研究所 感染症情報センター <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

ぜんそく、CCPD（慢性閉塞性肺疾患）についての詳しい情報、用語集など

- ◆財団法人日本アレルギー協会 <http://www.jaanet.org/>
- ◆独立行政法人 環境再生保全機構 <http://www.erca.go.jp/>

平成21年度厚生労働科学研究費補助金（特別研究事業）「2009年度第一四半期の新型インフルエンザ対策実施を踏まえた情報提供のあり方に関する研究」研究班（主任研究者・安井良則／分班研究者・中山健夫／研究協力者・日本患者会情報センター）

<患者委員> 赤城智美（NPO法人アトピック地球の子ネットワーク） 武石仁身（NPO法人アレルギー児を支える全国ネット「アラジーボット」）

武内澄子（食物アレルギーの子を持つ親の会） 武川篤之（NPO法人日本アレルギー友の会）

矢内純子（NPO法人環境汚染等から呼吸器病弱者を守る会（エバレク）EPAREC）（五十音順）

<医師委員> 秋山一男（日本アレルギー学会理事長・国立病院機構相模原病院長） 岡田賢司（国立病院機構福岡病院統括診療部長）

豊川貴生（国立感染症研究所感染症情報センター・FETP）（五十音順）

この内容は2009年9月17日現在の情報に基づいています。 8

# 新型インフルエンザ対策 (A/H1N1)

感染してもひどくならないために

## 糖尿病

または血糖値が高い人へ

このパンフレットは、糖尿病や血糖値が高い方が、新型インフルエンザ(A/H1N1)についてハイリスクである状況を理解し、重症にならないよう、必要な事柄を提供するものです。

### 新型インフルエンザと糖尿病の関係

#### 新型インフルエンザ(A/H1N1)の特徴

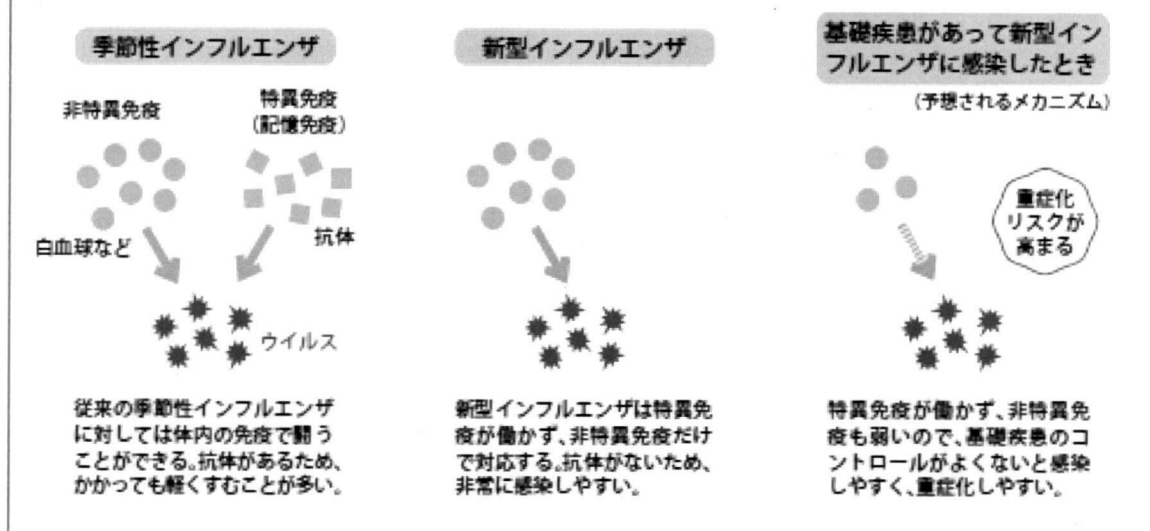
新型インフルエンザ(A/H1N1)は、2009年春に確認され、現在、日本国内で本格的な流行を迎えています。このインフルエンザは、動物由来のウイルスが変異し、ヒトからヒトに感染するようになったものです。従来、流行が懸念されていた鳥インフルエンザとは異なり、比較的ヒトに近いブタを経由したもの

です。今のところ高い病原性は確認されていません。

しかし、毎年、冬に流行する季節性インフルエンザと違って新型のウイルスであるため、大半の人は体内に、それに抵抗する免疫を持っていません。このため感染が非常に拡大しやすく、妊婦や糖尿病などの基礎疾患(持病)がある場合に重症化しやすくなるといわれています。

<インフルエンザと闘う体内の免疫機構のしくみ> (イメージ図)

非特異免疫……生物が異物を排除するためにもともと持っている免疫機構  
特異免疫(記憶免疫)……過去の感染やワクチンから後天的にできる免疫機構(抗体)



この内容は2009年9月17日現在の情報に基づいています。 1

## どうして、糖尿病の人は重症になりやすいのか

### インフルエンザの症状が長期化しやすいため

糖尿病や血糖値の高い人が、新型インフルエンザのハイリスクのひとつにあげられているのは、必ずしも感染しやすいからではありません。一度かかると治りにくく、重症になる可能性が高いからです。

### 血糖値の上昇で免疫機能が低下

血糖値が正常な人に比べて、高血糖の状態では白血球の働きが低下し、抗体をつくる免疫反応が弱まります。このためにインフルエンザの症状が長引き、肺炎などを併発しやすいと考えられています。ふだんから内服薬やインスリン注射によって、血糖が十分にコントロールできている人でも注意が必要です。

### 糖尿病の症状が一時的に重症になることも

インフルエンザにかかると血糖値が上昇し、通常の治療では血糖値のコントロールが難しくなります。また食欲不振と発熱による発汗、下痢によって脱水を起こす危険もあります。

ただし、高血糖症状は、新型インフルエンザにかかったことによる一時的なものです。糖尿病の慢性合併症が発症したり、進行したりすることはなく、インフ

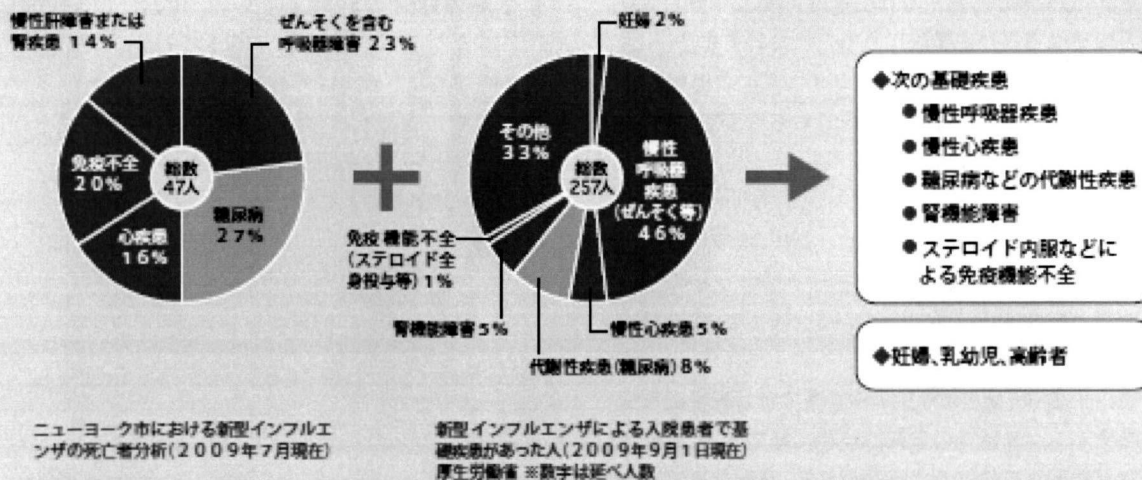
ルエンザが治ってしまえば血糖値は再びもとのレベルに戻り、内服薬やインスリン注射などでコントロールできるようになります。

### まずは日頃の血糖コントロールを

糖尿病の人は新型インフルエンザが重症になりやすいといっても、そのリスクは人によりさまざまで、しかも同じ人でも状況によって変化します。まず、自分の状態を常に把握し、治療を継続して血糖コントロールを保つこと、手洗いなどでインフルエンザを予防することが大切です。

さらに体調に変化があったらそれを記録し、かかりつけ医にすぐに相談するなどの対応がインフルエンザを重症化させないことにつながります。

ニューヨーク市における死亡者分析と、国内でのこれまでの事例から、インフルエンザが重症化しやすい人たちがわかってきています。



## 特に注意が必要な人とは

次の人は、新型インフルエンザにかかってしまったら注意が必要です。

- 1 血糖コントロールがよくない人(HbA<sub>1c</sub>が低い人)
- 2 糖尿病の合併症が進んでいる人
- 3 糖尿病の高齢者
- 4 糖尿病の乳幼児・児童

### 1 血糖コントロールがよくない人(HbA<sub>1c</sub>が高い人)

インフルエンザにかかると高血糖になり、さらに血糖コントロールが難しくなります。

### 2 糖尿病の合併症が進んでいる人

合併症にはいろいろありますが、特に「腎臓の働きが低下している人(透析が必要な人など)」と「神経障

害(感覚が鈍いなど)を発症している人」は、体の抵抗力が弱くなっています。また、これらの人は、市販されている風邪薬(総合感冒薬)や解熱鎮痛薬を飲むと血糖降下作用が強くなって出ることがあります。

### 3 糖尿病の高齢者

のどの渇きに自分で気づきにくく、いつのまにか脱水症状や意識障害を起こしやすくなります。

### 4 糖尿病の乳幼児・児童

新型インフルエンザ(A/H1N1)では、基礎疾患の有無にかかわらず、乳幼児や児童ではときに短期間で呼吸困難に陥ったり意識障害を起こすことがあると報告されています。糖尿病のある乳幼児や児童では特に注意が必要です。

## 新型インフルエンザにかからないために

糖尿病であっても、予防対策は一般の人と同じです。

### 手洗い

物を触った手で目や鼻をこすったり、口もとに持っていないようにしましょう。

手洗いはこまめに、石けんと15秒以上の流水で指の間や爪の間もていねいに洗います。十分な手洗いができない場合は、アルコール手指消毒液を使いましょう。

### うがい

うがいには、口の中の雑菌を流し落とす効果があります。のどや鼻から侵入したウイルスは、20分で口やのどの粘膜細胞から吸収されるといわれますが、一方では水でうがいをすることでウイルスによる風邪の発症率が40%下がるという調査もあります。ヨード液などのうがい薬は必要ありません。

### 掃除

ドアノブ、イスの背もたれ、テーブル、階段の手すり、みんなが使うパソコンのキーボードやテレビのリモコンなどもウイルスがついていると考えて、拭き掃除やアルコール消毒をします。

特に小さな子どもがいる時は、感染者が鼻や口を拭いたティッシュはそのままゴミ箱に捨てず、ビニール袋などに入れて捨てるようにします。掃除や片づけの後は手洗いしましょう。

なお、インフルエンザウイルスは洗剤や石けん、アルコール消毒液で感染力を失います。

### 新型インフルエンザの ワクチン(予防接種)について

体の持つ免疫のメカニズムの中で、ウイルスをたたくのは「抗体」の働きです。この抗体をあらかじめつけておこうというのがワクチンです。新型インフルエンザ(A/H1N1)のワクチンは現在製造中で、接種の方法などが検討されています。

手洗いやせきエチケットなどをわかりやすく解説した動画が公開されています

政府インターネットテレビへのリンク(予防編)

<http://nettv.gov-online.go.jp/prg/prg2725.html>

## まずは糖尿病のかかりつけ医に相談

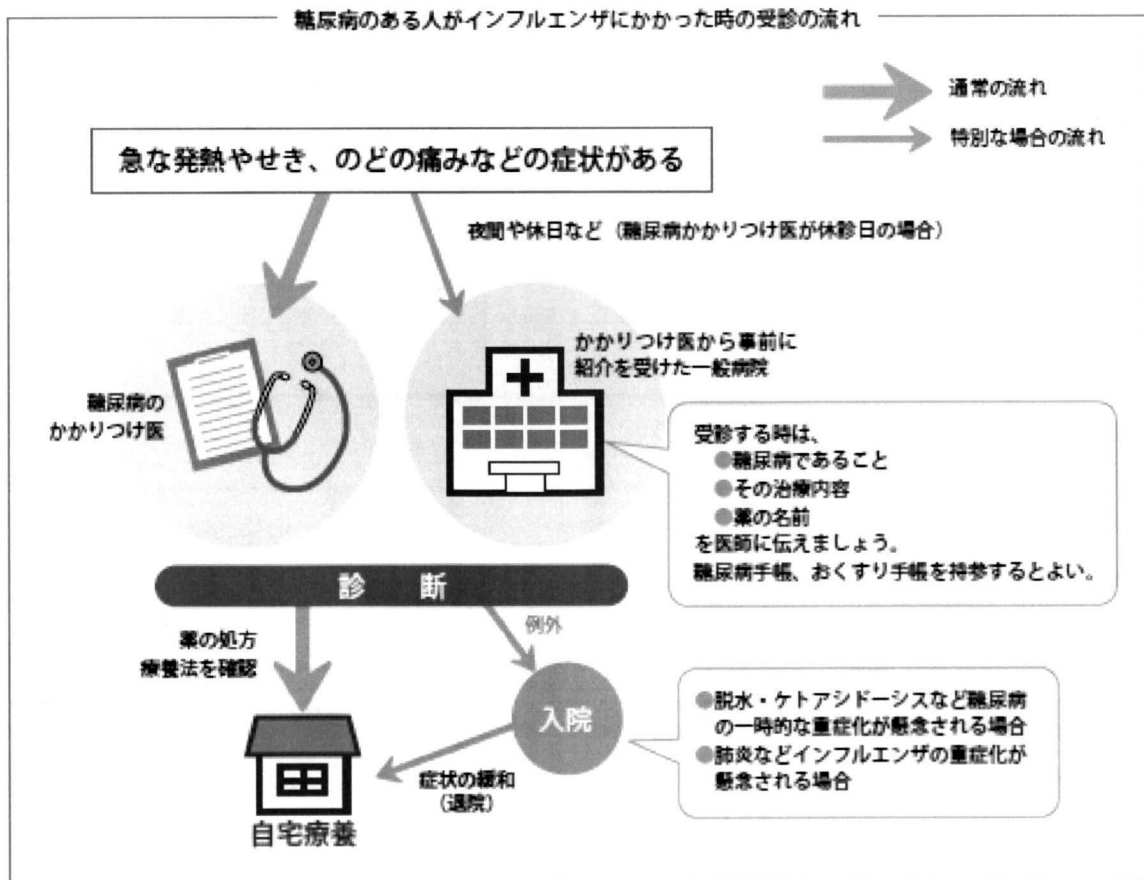
新型インフルエンザそのものによる初期症状	急な発熱、体のだるさ、関節痛、のどの痛み、頭痛、せき、鼻汁など
インフルエンザに伴う糖尿病の変化	いつもどおりのインスリンや内服薬の量でも血糖値が下がりにくい、高血糖(のどの渇き、多尿、倦怠感など)

新型インフルエンザの症状は、季節性のインフルエンザとあまり変わりません。新型インフルエンザにかかったかもしれないという疑いがあれば、糖尿病のかかりつけ医に相談しましょう。

高血糖の症状には体のだるさ、強いのどの渇き(甘い飲み物がほしくなる)、多尿(夜中に3回も4回も排尿に行く)、意識障害などが見られます。しかし、これらの症状は、多くの場合血糖値が300mg/dl以上にならなければ現れません。ふだんより数値が高い状

態が続くようなら、症状がなくても糖尿病のかかりつけ医の診察を受けましょう。

また、同じ糖尿病薬やインスリン注射を使っても、それぞれの体の状態によって血糖を下げる作用は異なります。「高血糖になった時は、どんな場合に、どのくらい薬やインスリン注射を増減させるか」について、あらかじめ糖尿病のかかりつけ医と相談しておくことをおすすめします。



## 受診の時には「糖尿病であること」を伝えましょう

新型インフルエンザの感染が疑われる場合、糖尿病のかかりつけ医が診療時間外や休診だったら、他の医療機関を受診することになります。糖尿病と新型インフルエンザの両方を治療する必要がありますから、なるべく事前に、糖尿病のかかりつけ医から他の医療機関の紹介を受けておくとよいでしょう。

診察時には担当医に①糖尿病であること、②受けている治療法、③薬の名前を伝え、④血糖値を測ってもらいましょう。また、自分で血糖値を測っている人は、いつもより測定回数を増やして(たとえば、1日4回の人には7回にするなど)、その数値をメモやノートなどに書き、受診の際に医師に見せましょう。

事前に紹介を受けていない人は、都道府県の新型インフルエンザ相談窓口や保健所の発熱相談センターに電話で受診先を相談してください。

なお、新型インフルエンザの疑いがあり病院に行く場合には、他の人への感染を防ぐため、必ずマスクを着用しましょう。

### ●抗ウイルス薬を発症後なるべく早期に

新型インフルエンザの治療には、抗ウイルス薬のタミフル(飲み薬)やリレンザ(吸入薬)が処方されます。これらは体内でウイルスが増殖するのを抑える働きがあり、発症後48時間以内に投与された場合、その効果が最も期待できます。インフルエンザをきちんと治すために、症状が軽くなっても処方された薬は最後まで使いましょう。

### ●抗ウイルス薬と糖尿病の薬の併用は大丈夫

抗ウイルス薬と、糖尿病の内服薬やインスリン注射を併用して副作用が起きたという報告は、このパンフレット作成時点ではありません。

## 自宅療養では、こんなことに気をつけて

糖尿病のある人がインフルエンザと診断された場合も、自宅療養が中心となります。インフルエンザを重症化させないことと同時に、感染をひろげないことにも配慮しましょう。

### 【重症化させないために】

- ◆温かくして、安静にする
- ◆医師の指導どおりに過ごす
- ◆インフルエンザの治療薬は処方されたとおりに使う(症状が治まっても、勝手にやめない)
- ◆インスリン注射や糖尿病の薬は自己判断で中止しない
- ◆水分を十分にとる
- ◆食欲がなくても、なるべくいつもどおりの食事をとる
- ◆血糖値や体温を測定して記録し、症状や体調を管理する

### 【家族に感染させないために】

- ◆感染者と家族は部屋を分け、睡眠だけでなく食事も別にするようにする(ただし子どもからは目を離さない)
- ◆部屋を分けられない時は、カーテンやついたてで居

場所を仕切る

- ◆家族と同じ洗面所やトイレを使う時には、感染者がマスクを着用する

### 【外出の目安】

- ◆熱が下がったからといって、すぐに職場復帰や登校・登園しようとしな。解熱してから、少なくとも2日間は外出を控えるようにする

### せきエチケット

ウイルスが含まれる唾液や鼻水などの飛沫は、2メートルも飛んでいることがあります。せきやくしゃみのある時はマスクを着用し、マスクのない時には口と鼻をハンカチやティッシュなどで押さえる習慣をつけましょう。

## 脱水症状に注意しましょう

インフルエンザでは、発熱や下痢、嘔吐などの症状が起こります。食欲も低下しやすくなるため、意識的に水分を補給しないと脱水を起こしやすくなります。軽い脱水では尿が少ない、なんとなく元気がなく皮膚に張りがない程度でほとんど症状はみられません。しかしそのまま放置すると頭痛を感じ、ひどくなるとけいれんや意識障害を引き起こし、非常に危険です。

発熱時によくすすめられるイオン飲料(スポーツド

リンク)には、塩分とともに糖分が含まれていますので、水やお茶を飲むとよいでしょう。高齢者は体内の水分だけでなく塩分も失われがちなので、昆布茶や梅干を入れたお茶などをおすすめします。

水分は食事からもとれます。ただし、何も食べられない時は、イオン飲料でもコップ半分程度(約100cc)なら問題はないでしょう。血糖値を測定しながら飲むことをおすすめします。

## 自宅療養中の食事の配慮

インフルエンザなどの感染症にかかった時は血糖値が上がりがやすくなっています。とはいえ、特別な糖尿病食を購入する必要はありません。いつもどおり食べるように心がけましょう。

糖尿病の食事療法をしている人は1日3回、決まった時刻に食べることをすすめられています。新型インフルエンザにかかった時は体調不良のために食欲もなくなり、食事の回数が減り、時間帯がずれて不規則になりがちですが、心配することはありません。少量でも食べられるものを口に入れましょう。

療養中で食欲がない時の食事例としては、糖質の補給として消化のよい炭水化物(おかゆ、うどんなど)を中心に、のどごしのいいもの(プリンやゼリーなど)や

塩分が含まれているものを水分の多い形(野菜スープ、味噌汁など)で食べることをおすすめします。



### インスリン注射は自己判断で中止しない

1型糖尿病はホルモンの一種であるインスリンが分泌されないタイプで、血糖値に合わせた量をインスリン注射により補います。

2型糖尿病は、いろいろな原因でインスリンの分泌量が不足したり、十分に働かなかったりするタイプで、その原因に合わせて内服薬を使用したり、インスリンの不足を注射で補ったりします。

インスリンには「基礎インスリン」と「食後の追加インスリン」の2種類があり、健康な人は1日中必要な量が分泌されています。

一般に「インスリンは食後に血糖値を下げるた

めに投与する」と考えられがちです。

しかし、食欲がなく何も食べていない場合でも、1型の人は2種類のインスリンがともに分泌されないため、注射で補わなければなりません。2型でインスリン注射の治療をしている人も、少量の投与が必要です。投与量については個人差があるため、糖尿病のかかりつけ医とよく相談しましょう。

食事をしていないなどの理由でインスリン注射を自己判断で中止すると、高血糖による意識障害をひき起こしてしまうこともあり危険です。

こんな時はすぐ病院に電話して受診

<p>インフルエンザ そのものの重症化</p>	<p><b>小児の場合</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 起きられない</li> <li>● 呼吸が速い、息苦しそう</li> <li>● 顔色が悪い(土気色、青白いなど)</li> <li>● 嘔吐や下痢が続く</li> <li>● 意識障害、異常行動</li> </ul> <p><b>大人の場合</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 呼吸困難または息切れがある</li> <li>● 胸の痛みが続く</li> <li>● 嘔吐や下痢が続く</li> <li>● 3日以上、発熱が続く</li> </ul> <p>さらに、「せきがひどくなる」「高熱が続く」「一度解熱してまた上がる」「呼吸困難」「血たん」などの症状がみられる時は、インフルエンザの合併症として肺炎を引き起こしている場合もあります。</p>
<p>インスリンの効きすぎによる低血糖症状</p>	<p>手のふるえ、冷や汗、不快をともなう空腹感、めまい、意識障害</p>
<p>インフルエンザ感染に伴う高血糖症状</p>	<p>体のだるさ、強いのどの渇き、多尿、意識障害</p>
<p>脱水症状</p>	<p>頭痛、けいれん、意識障害</p>

家族や介護者が気をつけること

① 症状が急変しないか

特に、小児や高齢者では急速に症状が悪化することがあります。意識や反応、顔色などをたびたび確認し、上の表のような症状があれば、すぐにかかりつけ医などに受診の連絡をしましょう。場合によっては、救急車を呼ぶことも考えます。



② 低血糖症状が出ていないか

インフルエンザにかかると血糖値が上がり、コントロールが難しくなっているため、インスリンの効きすぎによる低血糖症状が起こりやすくなります。

**対策** 意識を失ってしまったら、家族や介護者が「下くちびると歯肉の間」や「舌の裏」にブドウ糖を大さじ1杯程度塗りこみます。効果が不十分で回復が思わしくない場合は、すぐに救急車で医療機関に搬送します。

一方、意識がある場合は、あめ玉やブドウ糖・砂糖をなめさせたり、甘味飲料をコップ半分程度飲ませたりします。ブドウ糖は医師から処方してもらえるほか、薬局・スーパーでも売っています。

受診や自宅での過ごし方についてわかりやすい解説が動画で公開されています  
政府インターネットテレビへのリンク(受診と療養編)  
<http://nettv.gov-online.go.jp/prg/prg2724.html>



## 今から備えておきたいこと

糖尿病の治療薬は余分に保管しておきましょう

インスリン注射や内服薬などは、最低1週間の余裕をもって処方してもらうよう、次の通院日を決めましょう。

感染者が増加している地域の慢性疾患の患者（糖尿病を含む）は、かかりつけ医が了承した場合、電話での診察後、FAXなどで薬の処方を受けられることになっています（2009年5月厚生労働省事務連絡）。詳しいことはかかりつけ医とご相談ください。

治療内容やかかりつけ医の連絡先を確認しておきましょう

どの医療機関で、どんな治療や処方を受けているかを中心に、休診の時や夜間に相談できる医療機関、日頃の血糖値などを整理して下の表に書き込んでおきましょう。そして、自分が持っているだけでなく、周囲の人にも渡しておきましょう。

糖尿病のかかりつけ医に相談してインフルエンザ感染に備えて書き込んでおきましょう

ふりがな 名 前	明治・大正・昭和・平成 年 月 日 生まれ ( ) 歳		
糖尿病のかかりつけ医			
病 院 名	TEL		
担 当 医	対応可能日		
休診日・夜間に発症した場合の緊急対応先			
夜 間	病院名(診療科)	TEL	
休 診 日	病院名(診療科)	TEL	
糖尿病の治療について			
常用している薬の名前・服用量			
日頃の血糖値	空腹時血糖 mg/dl	HbA <sub>1c</sub> %	体温 ℃
日頃の血圧	最高血圧 mmHg	最低血圧 mmHg	(測定日 )
その他特記事項			

### 情報ネット

新型インフルエンザ情報、および糖尿病に関する情報は、下記のホームページで見ることができます。ご利用ください。

- ◆厚生労働省 新型インフルエンザ対策関連情報 <http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou04/index.html>
- ◆社団法人 日本糖尿病協会 [http://www.niddokyo.or.jp/kinkyu\\_090522.html](http://www.niddokyo.or.jp/kinkyu_090522.html)
- ◆国立国際医療センター 戸山病院 糖尿病情報センター [http://imcj-dm.jp/center/topics\\_01.html](http://imcj-dm.jp/center/topics_01.html)

平成21年度厚生労働科学研究費補助金(特別研究事業)「2009年度第一四半期の新型インフルエンザ対策実施を踏まえた情報提供のあり方に関する研究」研究班(主任研究者・安井良剛/分担研究者・中山健夫/研究協力者・日本患者会情報センター)

<患者委員> 山田孝子(運旗) 山本康史(NPO法人日本IDDMネットワーク)(五十音順)

<医師委員> 弘世壽久(順天堂大学医学部内科学・代謝内分泌学准教授) 堀 賢(順天堂大学大学院薬学部薬理学准教授)(五十音順)

この内容は2009年9月17日現在の情報に基づいています。 8

## 新型インフルエンザ対策(A/H1N1)

# がんで 治療中の人へ

感染しない 感染してもひどくならないために

### 短期間で世界的な流行をみせる 感染力の強い新型インフルエンザ (A/H1N1)

2009年春に最初の感染が確認された新型インフルエンザ(A/H1N1)は、豚の体内で人や鳥のインフルエンザウイルスが混ざって、ヒトからヒトへと感染するようになったものです。

この新型インフルエンザには、今のところ、一時期流行が懸念された鳥インフルエンザ(H5N1)のような高い致死率は認められていません。しかし、短期間のうちに世界的な広がりを見せたことから、強い感染力を持つと考えられます。

感染症発生動向調査によると、国内でも8月10日～

16日の1週間でインフルエンザの報告が7,750例と全国的な流行期に入り、その2か月半後の10月26日～11月1日の1週間では159,651例に達して、爆発的な広がりを見せています。患者数はその後も増え続け、11月23日～29日の1週間は190,801例に至っています。

なかでも、妊婦、糖尿病、呼吸器や腎臓・肝臓などに慢性的な疾患のある人、がんの治療中などで免疫力が低下している人が新型インフルエンザにかかると、重症になりやすいと考えられています。

**Q1** 一度かかったら二度とかかりませんか。

**A1** インフルエンザウイルスは、比較的早く性質を変える特徴を持っています。同型の季節性インフルエンザに何度かかっている人がいるのはそのためです。新型インフルエンザウイルスも短期間のうちに変異すれば、二度三度とかかる可能性があります。ただし、タイプが似ていれば二度目にかかったときには、早い時期に免疫反応が働いて、症状が軽くてすむかもしれません。

**Q2** 60代以上の人はかからないのですか。

**A2** スペイン風邪が大流行した1918～19年以前に生まれた(90代以上の)人には免疫があるとする海外の報告があります。一方、国内の調査結果では、1930年以降に生まれた人には免疫がほとんどないとされており、60代以上がかからないとする根拠はまだありません。

**Q3** 新型(A/H1N1)は季節性インフルエンザよりも怖いのですか。

**A3** 現時点では、季節性インフルエンザに比べて新型インフルエンザが特に致死率が高いわけではありません。新型インフルエンザの累計の推定患者数は、1,414万人(2009年12月6日現在)と推計されており、死亡時に新型インフルエンザに感染していた(疑いも含む)例は、107例(同年12月8日現在)が報告されています。統計の取り方などに違いがあるため、単純に比較することはできませんが、季節性インフルエンザの致死率が平均で0.1%(先進国のみ)であることを考えると、新型インフルエンザがとりわけ危険であるとはいえません。

## がん治療で免疫が低下すると インフルエンザの症状が重くなりやすい

### 免疫のしくみと働き

私たちのからだは、体外から侵入する異物を攻撃・排除するために生まれつき備わっている「自然免疫」と、それでは退治しきれないときに働くより強固な「獲得免疫」に守られています。

獲得免疫は、一度出会った菌やウイルスを記憶したり、抗体を作ったりすることで、同じ菌やウイルスが再び侵入したときにすばやく攻撃する免疫反応です。

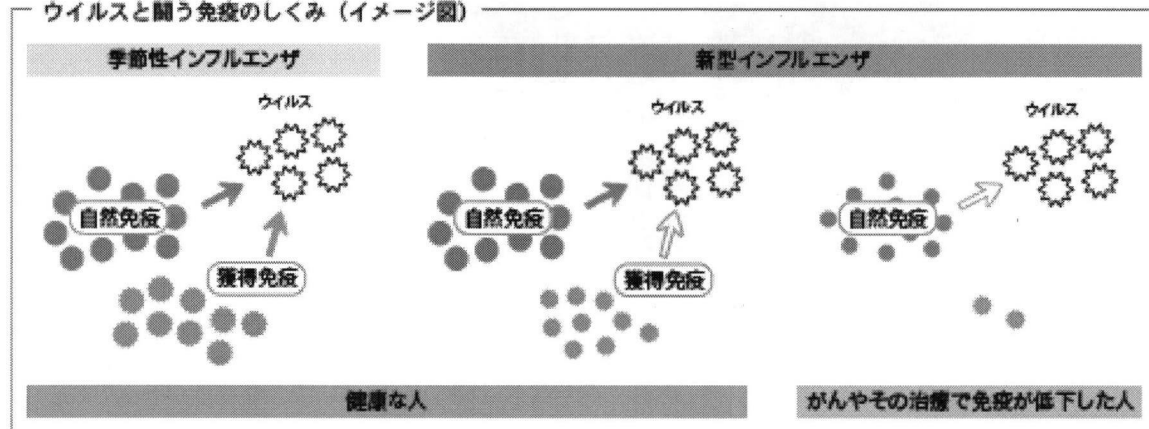
季節性インフルエンザと違って、私たちの多くが、新型インフルエンザウイルスの抗体を持っていません。

そのため、「獲得免疫」が働かず、新型インフルエンザに立ち向かうには「自然免疫」が頼りです。

### がん治療中は免疫が低下している？

ところが、がんの治療中の人は、病状あるいは治療によって自然免疫の働きが弱まり、著しく免疫が抑えられた状態（免疫抑制状態）に陥ることがあります。そのような状況でインフルエンザなどの感染症にかかると、病氣と闘って治そうとする力が弱くなっているために、重症化するおそれがあります。

ウイルスと闘う免疫のしくみ（イメージ図）



**Q4** 免疫が下がっていることを知る方法がありますか。

**A4** 免疫機能の中心であるリンパ球や好中球を含む白血球の数の減少は、免疫低下を知る一つの目安です。しかし、脳腫瘍の治療に使われる抗がん剤のテモゾロミド(テモダール)のように、白血球総数があまり変わらずに、リンパ球のみが減少して免疫が下がる例も増えており、白血球数の増減が免疫状態のすべてをあらわしているとは限りません。医師による総合的な判断が必要です。

**Q5** 治療で免疫が抑えられると、新型インフルエンザにかかりやすいのですか。

**A5** インフルエンザを含む感染症にかかりやすいことと、かかった場合に重症化しやすいことは、分けて考える必要があります。まず、がんの治療中の人が健康な人比べて新型インフルエンザにかかりやすいことを証明する研究データはありません。しかし、がんの治療中には免疫が下がり、新型インフルエンザの症状が重くなることがあります。そのため、感染しないよう予防することが大切です。

**Q6** 手術や放射線照射、抗がん剤治療後、どのくらいの期間、免疫が抑制された状態が続くのですか。

**A6** 免疫機能が受けるダメージは治療内容によって大きく異なるため、以下はあくまでも目安です。  
一般に、早期がんや手術でがんが完全に切除できた固形がんの術後は、明らかな免疫機能の低下は起こりません。また、免疫抑制効果のとくに強い薬を使ったり、脾臓に放射線を照射した場合を除けば、治療終了後6か月程度で通常の免疫機能に戻ると考えられます。

## がんの患者さんの中でも、次のような人は重症化のリスクが高いと考えられています

新型インフルエンザにかかると重症化しやすいのは、表のような治療を受けている（受けた）人、あるいは表のような状況にある人と考えられます。

最近では副作用対策として、高用量の吐き気止め（ステロイド剤）が使われていますが、これも免疫機能を抑制するので注意を要します。

ただし、同じ病気で同じ治療を受けていても、副作

用の出かたや程度は人それぞれです。がんの種類や進行度、合併症の程度なども影響します。

なお、早期がんやがんの根治手術後は、通常、免疫機能の低下がみられないため、とくにリスクが高いとはみなされません。自身の重症化リスクについては、病態をよく知る主治医との話し合いによってご判断ください。

### 新型インフルエンザ重症化リスクの高い治療内容

#### 極めてリスクが高い

\*薬剤名の表記は、一般名（商品名）

① 強い免疫抑制を伴う薬物療法中の患者	抗がん剤	アルキル化剤	シクロフォスファミド(エンドキサン)、イホスファミド(イホマイド)など
		アントラサイクリン	ドキソルビシン(アドリアシン)、エピルビシン(ファルモルビシン)など
		白金製剤	シスプラチン(ランダ、プリプラチンなど)、カルボプラチン(パププラチンなど)など
		代謝拮抗剤	テガフル・ギメラシル・オテラシル(TS-1)、シタラビン(キロサイド)、ゲムシタビン(ジェムザール)など
		トポイソメラーゼ阻害薬	イリノテカン(トポテシン、カンプト)、エトポシド(ラステットなど)など
		タキサン	パクリタキセル(タキソール)、ドセタキセル(タキソテール)
	ビンカルカロイド	ビンプラスチン(エクザール)、ビノレルビン(ナベルビン)など	
分子標的薬	スニチニブ(スーテント)、ゲムツズマブオゾガマイシン(マイロターグ)、イマチニブ(グリベック)、ニロチニブ(タシグナ)など		
② 急性白血病、慢性骨髄性白血病、悪性リンパ腫、慢性リンパ性白血病、多発性骨髄腫の患者と治療終了後5年未満の患者			
③ 骨髄移植などの造血幹細胞移植を受けた患者			
④ 脳腫瘍、神経芽腫、横紋筋肉腫、骨肉腫、肝芽腫などの小児がん、白血病や悪性リンパ腫の治療中および治療終了後の患者			

#### リスクが高い

① 強い免疫抑制を伴わない薬物療法中の患者	ホルモン療法	LH-RH アゴニスト	ゴセレリン(ゾラデックス)、リュープロレリン(リュープリン)
		抗エストロゲン剤	タモキシフェン(ノルバデックス、タソミン)など
		アロマターゼ阻害剤	アナストロゾール(アリミデックス)、エキセメスタン(アロマシン)、レトロゾール(フェマール)
インターフェロン、インターロイキン			
分子標的薬	グフィチニブ(イレッサ)、エルロチニブ(タルセバ)、ソラフェニブ(ネクサバル)、ダサチニブ(スプリセル)、ラパチニブ(タイケルブ)、ペバシズマブ(アバステン)、セツキシマブ(アービタックス)、トラツズマブ(ハーセプチン)など		
② 化学療法を受けていない進行・再発がんの患者			

厚生労働省が2009年10月13日に出した「新型インフルエンザワクチンの優先接種の対象とする基礎疾患の基準」を参考にしています。  
<http://www.mhlw.go.jp/kinkyu/kenkou/influenza/dl/infu091013-01.pdf>

この内容は2009年12月17日現在の情報に基づいています。 3